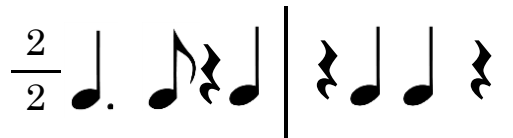


## ラテン・アメリカン・リズム

この節でいうラテン・アメリカン・ダンスは、比較的新しいボールルームダンスの部類に入る。多くの場合、特にキューバのダンスで、アフリカやヒスパニックの影響が一定程度あるものの、それらの起源となる国の音楽であることには変わらない。

この節で扱うのは、チャチャ、マンボ、メレンゲ、ルンバ、サンバであり、これらと非常に近いものも含む。多くの場合、異なるダンスの間にはささいな違いしかない。一番よくあるのは、アクセントのあるビートから他のビートへ単に移したり入れ替えたりすることによって生じる違いである。また、特定のラテン打楽器の使用によって他と区別されることもある。クラベス(2つの棒)によって演奏される簡単な2小節のリズム構成を用いることが、多くのラテンリズムの背景となっている。下記がクラベスによるよくあるリズム譜の例である。



多くのラテン・アメリカン・ダンスの“祖父”は、「ソン」である。ゆっくりで感傷的なダンスであるボレロを由来とする。「ソン」それ自身はより速いテンポで、鋭いビートと激しいステップパターンによって強調される。このダンスが、これほど有名になった躍動感のある様々なキューバダンス(特にマンボとチャチャ)へどのように至ったのかを知ることは簡単である。ルンバでさえ、多少のゆっくりなテンポとよりリズムを捉えにくい感じはあるが、ソンやダンソンを由来とするものである。

一般的に、ラテン・アメリカン・ダンスの振りは、それぞれのリズムの基本的な特徴が反映されている。

色っぽいダンス:ルンバ、タンゴ、ミロンガ

カーニバルダンス:サンバ、コンガなど

これらのダンスの多くは、ザビエ・クガートとペレス・プラドのようなラテンアメリカンバンドのリーダー達によって、アメリカのボールルーム界に紹介されることで、広く知られ、人気を得た。

# チャチャ

**起源** チャチャチャ(「チャチャチャ」とも言う)は、キューバを起源とするダンスリズムであり「スキップングステップ」の一種を伴う。しかしながら、現在知られているのは、アメリカ風にアレンジされたものである。「トリプルマンボ」とつながりがある。

**特徴** 所定の位置で、誘う動きと追いかける動きとともに、活発で陽気な様子で踊られる。

**拍子記号** 通常 4/4 拍子で演奏される。(2/2 で演奏されることもある。)

**テンポ** かなり早い。

パターンダンス:

チャチャコンゲラード 1 分間に 29 小節(毎分 116 拍)

ボールルームダンス 1 分間に 30~32 小節(毎分 120~128 拍)

## リズムパターン





1パターンの中で、4 ビートの音楽に対して5ステップが用いられる。

ビートカウント:

1	2	3	“and”	4
step	step	cha	cha	<b>CHA</b>

「チャチャチャ」はその小節内の様々な場所に現れうる。

## 一般的なリズム譜

	$\frac{4}{4}$					
音楽のカウント		1	2	3	4	
スケートのカウント		1	2	3	4	

8分音符と強拍は小節内の他の部分でも起こりうる。

## 一般的な楽器

キューバでは元々は主にバイオリンとフルート: 今日では金管楽器と打楽器と主として非常に様々である(ボンゴドラム、マラカス、カウベル、ティンバレスなど)。

**CD の音楽** 『Sweet and Gentle』

# マンボ

**起源** マンボは、キューバのリズムから 1930 年代に現れたものである。チャチャやキューバのルンバとつながりがある。テンポはルンバより早く、少ないヒップ動作で異なる音楽の強調がある。

**特徴** ダンスは少し生意気な、速いテンポで短く切って演奏するスタイルの音楽で演じられる。ステップは小さく維持され、最初のビートをわずかに長く保つ。セクシーなダンスである。

**拍子記号** 2/2 拍子。ゆっくりなマンボは 4/4 拍子で書かれることもある。

**テンポ** 非常に多くの種類がある。  
ボールルームダンス 1 分間に36小節(毎分144拍)  
社交ダンス 1 分間に34~48小節(毎分136~192拍)

**リズムパターン** 1パターンの中で、4ビートの音楽に対して3ステップが踊られる。ビート2と4に強調(アクセント)が少しある「オフビート」のダンスである。  
ビートカウント:        1        2        3        4  
                         hold    step    step    step

一音符ずつ短く切って演奏する(スタッカート)スタイルの音楽。

## 一般的なリズム譜



**一般的な楽器** ティンバレス(スドラムのふちをティックで打つ方法と用いるドラムで、金属的な音を出すもの)の他、クラベスやカウベルなどの打楽器

**CD の音楽** 『Quien Sera』

## その他の関係するダンス

**クンビア** 慌ただしい足さばきを際立たせるマンボのコロンビア様式  
**サルサ** 「touch,step,step,step」というパターンを際立たせる新しい形式  
**トリプル・マンボ** ゆっくりとつなげられるマンボの3カウント様式で、チャチャにつながる音楽のよりはっきりした演奏

# メレンゲ

**起源** ハイチ共和国やドミニカ社会での民族舞踊を起源とし、その後ボールルームダンスのリズムとして採用された。

**特徴** 足を滑らせるような(limping)感じで現れる左右へのヒップ動作で演じられる簡単なダンスである。明るく軽快な一音符ずつ短く切って演奏するスタイルの音楽で踊られる。

**拍子記号** 1小節で2ビートの 2/4 拍子(2/2 で書かれることもある)

**テンポ** とても速いテンポである。

バンドリーダーがダンスの終わりに向かってペースを早くすることもある。

ボールルームダンス:1 分間に55~60小節(毎分110~120拍)


**リズムパターン** 2/4 拍子の最初のビートに強調がある。


ビートカウント                      1        2        /        1        2  
   **STEP** touch        **STEP** touch

明るく軽快な一音符ずつ短く切って演奏する(スタッカート)スタイルの音楽で、足を滑らせるような(limping)ステップによく合う。

## 一般的なリズム譜

様々な組み合わせが見られる。

Basic  $\frac{2}{4}$  

Authentic  $\frac{2}{4}$  

音楽のカウント | 1                      2                      | 1                      2                      |

**一般的な楽器** 一般的にキューバ音楽と同じ。すなわち金管楽器とフルートと打楽器(ティンバレス、スネアドラム、弱音器を付けたカウベル、ギロ)

**CD の音楽** 『El Merengue Empaliza』

## その他の関係するダンス

**パチャンガ** メレンゲから派生した音楽で、キューバに住むコロンビア人によって創られ、のちに彼らによりアメリカに持ち込まれた。「チャランガ」と呼ばれる音楽で踊られる。

# ルンバ

**起源** ルンバは、キューバのダンソン、ソン、スパニッシュ・ボレロをアメリカ風にしたものである。アフロ・キューバンのリズムである。ザビア・クガートにより1933年にアメリカで広く知られるようになった。ルンバのリズムは、ラテン音楽の精神と魂である。

**特徴** 基本的なルンバのリズムに合わせて、情熱的で感覚的で流れるような動作で踊る。スローなリズムを引き立たせるヒップ動作は、ステップを踏んでから体重移動を行うことで生じる。

**拍子記号** 本当は1小節で4ビートの 4/4 拍子であるが、2/2 で書かれることも多い。

**テンポ** ゆっくり

パターンダンス : 1分間に44小節(毎分176拍)。

ボールルームダンス: 1分間に27~32小節(毎分108~128拍)

**リズムパターン** 一般に1パターンの中に、3ステップがあり、ビート1または2でスタートするが、パターンそのものは4ビートである。

ビートカウント	ビート1で開始:	1 step	2 step	3 step	4 hold
	ビート2で開始: (ボールルーム)	1 hold	2 step	3 step	4 step / 1 hold

ゆっくりで、流れるような感じで、情熱的である。

一般的なリズム譜

$\frac{4}{4}$				
音楽のカウント	1	2	3	4
スケートのカウント	1	2	3	4

**一般的な楽器** ルンバの根本はベース楽器によってもたらされる。高音域の楽器は、メロディーとラテンらしさを高めるにすぎない。マラカスやクレバス、ギロ、ゴンガドラム、ボンゴのようなラテン打楽器を用いる。

**CD の音楽** 『Siboney』

**その他の関係するダンス**

**ビギン** ルンバやボレロを踊ることができる音楽のテンポまたは種類

**ボレロ** 3/4 拍子のスパニッシュダンスが起源である。キューバ人によって 2/4 拍子に換えられた。マンボと同じステップのパターンを使っているが、よりゆっくりであり、より情緒的な音楽である。より古く、より洗練されたダンス。

**ダンソン** キューバ起源のルンバの一種で、貴族的でゆっくりとした品位のあるダンスである。カップルが話すために止まるような求愛するダンス。フルートで演奏する音楽。

**フラチャ** とても速いルンバ。

**ソン** 中間的なスピードのルンバ。すべてのアフロキューバ・ダンスの“祖父”である。

サンバ

**起源** アフリカで発祥し、奴隷たちによってブラジルの植民地にもたらされた。その後、カーニバルのときに、カーニバルとパレードのダンスとして都市部に広められた。1920年代にボールルームダンスとして演じられたが、一般的になったのはカルメン・ミランダの出演した映画による。ブラジルの国民的ダンスであり、ブラジルの心と魂そのものである。「ブラジリアン・ポルカ」と言ってもいいだろう。

**特徴** 浮ついた感じの、生き生きした、元気のいい、はちきれるようなダンスはカップルと一緒に演じるもので、体を揺さぶる動作を伴い、バリエーションのために時折互いに離れる。

**拍子記号** 1小節で2ビートの 2/4 拍子である。2/2 で書かれることもある。

**テンポ** 中間的なスピードから速いものまで様々である。

## パターンダンス

シルバーサンバ 1 分間に 54 小節(毎分 108 拍)。

ボールルームダンス 1 分間に 50～54 小節(毎分 100～108 拍)

**リズムパターン** 2ビートの音楽に対して3ステップが各パターンの中で使われる。

## ビートカウント

1 “and” 2 / 1 “and” 2  
step quick step step quick step

はちきれんようで、元気のいい、生き生きとした感じである。

## 一般的なリズム譜

Basic  $\frac{2}{2}$

Variation  $\frac{2}{2}$

音楽のカウント | 1 2 1 2

スケートのカウント | 1 2 3 4

**一般的な楽器** しばしばラテン楽器によって伴奏される。とくに、カバサ、ショーカリョ、ギロ、コンガドラムである。

## CD の音楽 『Brazil』

## その他の関係するダンス

**ボサノバ** 多くのラテンステップが踊られるようなリズムである。ジャズの感じを伴うブラジリアン・サンバの落ち着いた形になったものであり、ゆっくりなサンバ(バイオン)音楽でルンバのヒップ動作を使って踊られる。

**カリオカ** リオの土着のダンスで、カーニバルのときに、通りに一列に並んで演じられる。サンバの一種である「サンバ・カリオカ」を短く言ったもの。